

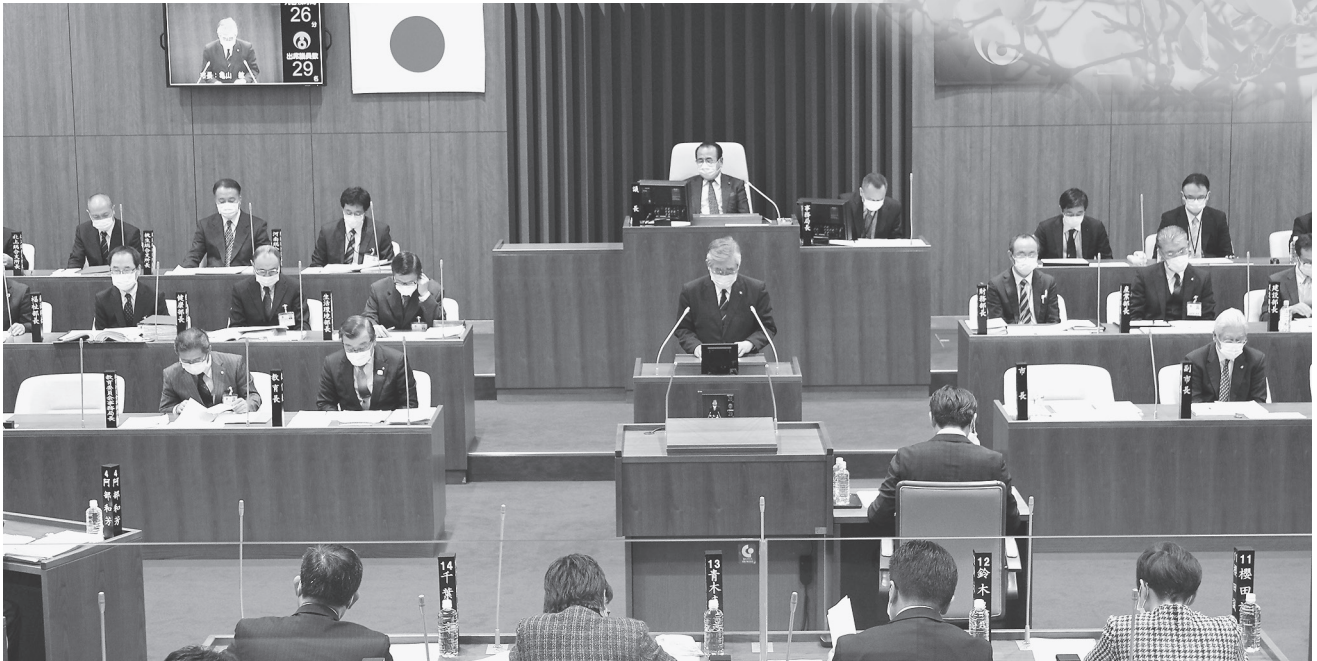
# いのまき 議会だより

No. 64

令和2年5月13日発行

令和2年度予算可決 .....	2
各常任委員会審査 .....	7
施政方針に対する質疑 .....	9
17人が一般質問で市政を問う .....	12
各常任委員会行政視察レポート .....	19

## 「異例のマスク姿での本会議」



## 令和2年度予算 修正可決

「歳入予算に見合った歳出予算」  
持続可能な財政運営を意識

前年度比 8・8%増

当初予算 総額 3142億3千万円

一般会計 1951・8億円

対前年度比 8・7%

155・8億円増

総会計 3142・3億円

対前年度比 8・8%

255・0億円増

震災復興基本計画の最終ステージ、10年間の総仕上げの1年として、残された復旧・復興事業を着実に推進させることに重点を置くとともに、復興期間終了後を見据え、復興予算と通常予算を区別して編成した。

復興予算は各種事業の最終段階として、着実な事業完遂を基本とする一方、通常予算は将来的な税収や普通交付税の減少に加え、社会保障経費や新たな公

共施設の維持管理経費の増加から、今後の財政状況が厳しいものとなることを踏まえ、前年度決算額を基準とする「歳入予算に見合った歳出予算」への転換を図る、持続可能な財政運営を意識した予算編成とした。

義務的経費は、臨時職員等の会計年度任用職員制度への移行や幼保無償化に伴う私立幼稚園施設等利用給付費の増加により、対前年度比6・4%増の321・5億円とした。

投資的経費は、一般廃棄物最終処分場建設事業により増加したものの、(仮称)ささえあいセンター建設事業や蛇田公民館建設事業の完了などにより対前年度比4・9%減の565・0億円とした。

### 歳入

市税は、対前年度比3・1%増の189・1億円で計上。地方交付税は、2・8%増の484・6億円、国庫支出金は、3・7%減の247・3億円、県支出金は、9・8%増の60・9億円、市債は、27・9%増の90・3億円として計上した。

### 歳出

義務的経費は、臨時職員等の会計年度任用職員制度への移行や幼保無償化に伴う私立幼稚園施設等利用給付費の増加により、対前年度比6・4%増の321・5億円とした。

投資的経費は、一般廃棄物最終処分場建設事業により増加したものの、(仮称)ささえあいセンター建設事業や蛇田公民館建設事業の完了などにより対前年度比4・9%減の565・0億円とした。

# 1,952億円の使いみち

## 令和2年度各種会計予算のあらまし

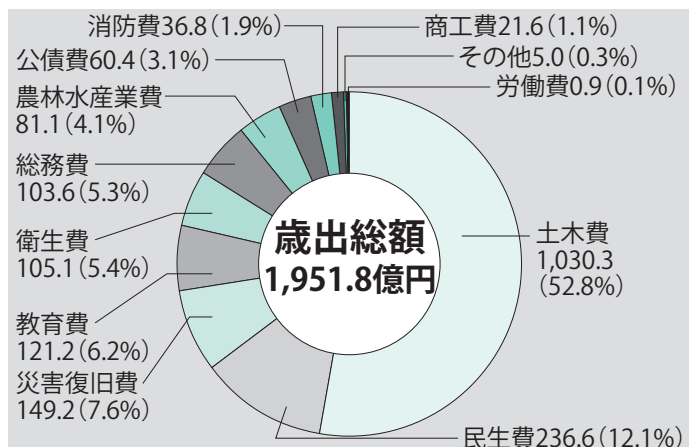
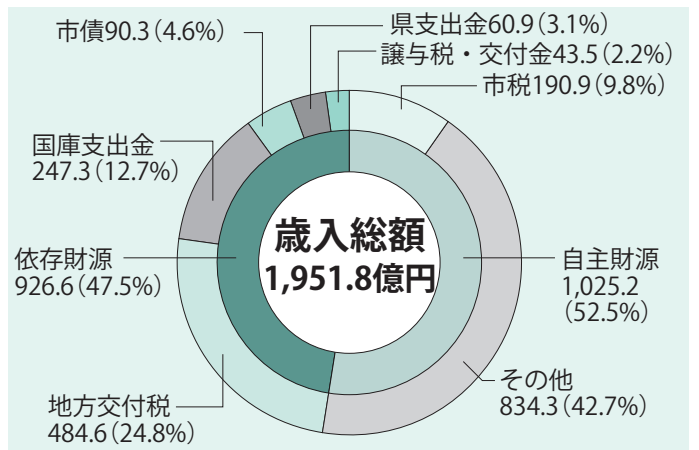
会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	195,178,000	8.7
復旧復興分	124,584,344	14.3
通常分	70,593,656	0.1
特別会計	34,693,436	▲66.3
内		
土地取得	218,020	▲1.2
水産物地方卸売市場事業	396,029	▲0.6
下水道事業	-	皆減
漁業集落排水事業	-	皆減
農業集落排水事業	-	皆減
浄化槽整備事業	-	皆減
記		
市街地開発事業	2,319,825	▲47.2
国民健康保険事業	15,550,257	▲7.8
後期高齢者医療	1,801,225	1.5
介護保険事業	14,408,080	4.4
病院事業会計	6,260,612	0.0
下水道事業会計(新規)	78,095,420	皆増
合計	314,227,468	8.8



▲予算案を語る木村忠良議長

## <一般会計予算の内訳>

単位：億円



## 令和2年度当初予算の主な事業

災害派遣職員関係費	13億2896万円
自立支援給付費	28億1459万円
私立認可保育所運営費	15億3744万円
生活保護各種扶助費	23億9591万円
被災者住宅再建補助事業費	17億5007万円
一般廃棄物最終処分場建設事業費	20億5329万円
農業復興推進費	26億0602万円
漁業集落防災機能強化事業費	20億9187万円
低平地整備事業費	104億9317万円
渡波稲井線街路整備事業費	20億7978万円
(仮称)鎮守大橋整備事業費	31億4900万円
釜大街道線街路整備事業費	24億0503万円
七窪蛇田線街路整備事業費	16億1593万円
複合文化施設整備事業費	37億0499万円





▲議案審議の様子

## 第1回定例会に提出された議案と審議結果

### 第1回定例会

令和2年第1回定例会を、2月13日から3月17日までの34日間の日程で開催し、市長提出議案99件、議員提出議案1件を審議した結果、令和2年度当初予算を修正可決、それ以外については原案のとおり可決しました。

### 予 算

#### (修正可決)

・令和2年度石巻市一般会計予算

#### (原案可決)

・令和2年度

- ・石巻市一般会計補正予算(第1・2号)
- ・石巻市土地取得特別会計予算
- ・石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- ・石巻市下水道事業会計予算
- ・石巻市市街地開発事業特別会計予算
- ・石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- ・石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- ・石巻市介護保険事業特別会計予算
- ・石巻市病院事業会計予算
- ・令和元年度
- ・石巻市一般会計補正予算(第7・8・9号)
- ・石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)
- ・石巻市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- ・石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ・石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- ・石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)
- ・石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第4号)
- ・石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ・石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・石巻市病院事業会計補正予算(第4号)

### 条 例

#### (原案可決)

- ・石巻市行財政改革推進委員会条例
- ・石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議条例
- ・石巻市総合交通戦略審議会条例
- ・石巻市プロポーザル選定委員会条例
- ・石巻市ささえあいセンター条例
- ・石巻市地域福祉委員会条例
- ・石巻市老人ホーム入所判定委員会条例
- ・石巻市地域密着型サービス運営委員会条例
- ・石巻市健康増進計画推進委員会条例
- ・石巻市土地改良施設管理条例
- ・石巻市雄勝地域拠点エリア条例
- ・石巻市十八成浜ビーチパーク条例
- ・石巻市旧北上川堤防利活用協議会条例
- ・石巻市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例

・石巻市空家等の適切な管理に関する条例

・石巻市立病院倫理委員会条例

・石巻市交通安全指導員条例を廃止する条例

・石巻市雄勝森林公園条例を廃止する条例

・石巻市表彰に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市職員の職務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例

・石巻市公共物管理条例の一部を改正する条例

・石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

・石巻市桃生スポーツ施設条例の一部を改正する条例

・石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例

・石巻市介護保険条例の一部を改正する条例

・石巻市印鑑条例の一部を改正する条例

・石巻市都市公園条例の一部を改正する条例

・石巻市震災復興土地区画整理事業施行に関する条例及び石巻市被災市街地復興土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市道路占用料条例の一部を改正する条例

・石巻市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

### そ の 他

#### (原案可決)

- ・財産の無償譲渡・無償貸付け・減額貸付け・取得について
- ・工事委託に関する年度協定の締結について 3件
- ・工事請負の契約締結について 6件
- ・工事請負契約の一部を変更する契約の締結について 2件
- ・工事請負契約の一部変更について 14件
- ・町の区域を新たに画することについて
- ・住居表示に関する法律第3条第1項の規定により定められた市街地の区域の変更について
- ・市道路線の認定・廃止・変更について

### 人 事

- ・教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて
- ↓阿部邦英氏を任命することに同意
- ・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ↓佐々木芳美氏、内海聡氏を推薦することに異議がない

# 第1回定例会で決まった中から主な事業を紹介します。

## 可決された条例から

### ◆石巻市雄勝拠点エリア条例

雄勝地域の水産・観光・伝統産業の振興、来訪者と市民との交流の促進および地域の活性化を図ることを目的とした「石巻市雄勝拠点エリア条例」を本年4月に開設する予定となったことから、制定するもの。

#### 内容

雄勝硯伝統産業会館条例や、雄勝インフォメーションセンター条例、雄勝石ギャラリー条例を廃止し、雄勝硯伝統産業会館および雄勝観光物産交流館の休館日や観覧料、研修室の利用料や、テナント区画等使用料などを規定するもの。

### ◆石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

門脇中学校を閉校し、令和3年4月に石巻中学校に統合することとなったため、本条例の一部を改正するもの。

### ◆石巻市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

石巻市立病院における診療科目について、東北大学病院などからの応援医師により継続して医療を行える見込みとなったため、診療科目を追加するほか、現在内科に内包されている診療科目の細分化を行うことから、本条例の一部を改正するもの。

改正	現行
内科、循環器内科、消化器内科、緩和ケア内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線診断科、麻酔科、リハビリテーション科	内科、外科、整形外科、放射線診断科、麻酔科、リハビリテーション科

## 可決された補正予算

今回の補正予算は、第26回目の「東日本大震災復興交付金」の交付に伴う基金への積立金のほか、離島航路の維持および経営支援に要する経費、原子力災害に備えた屋内退避施設の整備に要する経費などについて、所要額を措置したもの。また、各種事業の執行状況等に基づく整理、各種特別会計への繰出金、国庫補助金等の確定に伴う歳入予算の整理なども併せて行ったもの。

### ◆総務費では

- ・離島振興対策費
- ・地域交通対策関係費
- ・東日本大震災復興交付金基金費（積立金）

### ◆民生費では

- ・高齢者施設等防犯防災対策事業費

### ◆農林水産業費では

- ・農業振興対策費（台風関係分）
- ・さけ人工ふ化場整備事業費（台風関係）

### ◆商工費では

- ・中小企業等融資関係費

### ◆土木費では

- ・石巻工業港運河線街路整備事業費
- ・釜大街道線街路整備事業費

### ◆消費費では

- ・屋内退避施設確保事業費（旧網長小学校校舎）

### ◆教育費では

- ・奨学資金基金費（積立金）

### ◆災害復旧費では

- ・保育所災害復旧費（台風関係分）

# 6番黒須光男議員に出席停止の懲罰

## 議員発議

### ◆6番黒須光男議員に対する懲罰の件

黒須光男議員が2月25日から27日までの本会議で不規則発言や不穏当発言を繰り返して、石巻市議会の品位を汚したなどとして、2月27日、懲罰動議が提出されました。このことに伴い、2月28日に黒須光男議員が弁明を行い、懲罰特別委員会が設置されました。本市議会において、懲罰動議は初となります。3月6日の懲罰特別委員会では懲罰を科すべきかを審査し、「8日間の出席停止」との結論に至り、10日の本会議において起立採決により、議長と黒須光男議員を除く28人の全会一致で懲罰が可決。黒須光男議員は、議長から3月10日から17日までの8日間の出席停止の懲罰を宣告され、直ちに退場させられました。

### ●不規則発言とは・・・

議長の許可を得ない発言のこと。議長の許可を得ない発言は法的には効果が無い。主に激励、ひやかし、妨害等の無責任な言動、野次などのことをいいます。

### ●懲罰動議とは・・・

地方自治法または会議規則に違反する行動および言動により議会の秩序を乱した議員について、制裁すべきとする議題を提議すること。

### ◆第37号議案 令和2年度石巻市一般会計予算に対する修正動議

3月17日の委員長報告後の一括審議において、第37号議案令和2年度一般会計予算について、阿部久一議員、鈴木良広議員、阿部和芳議員より修正動議が提出されました。

提案された修正動議は、討論を経て、賛成多数で可決しました。

(修正動議に対する討論の内容については、6ページをご覧ください。)

# 当初予算の修正動議

## 6番黒須光男議員に対する懲罰動議

次の理由により、6番黒須光男議員に懲罰を科されたいので、地方自治法第135条第2項及び会議規則第148条第1項の規定により動議を提出します。

### ◆理由

黒須光男議員の令和2年2月26日の本会議における次の発言「架空水増し工事と認められるものが計上されてきた」「利権さ絡んでいるからそんなこと言うんだらうG議員は(後藤兼位)」「こんな瑕疵ある議会運営はありませんよはっきり言って」「あなたはまぐれで部長になったんだがら」及び同年2月27日の本会議における次の発言「株式会社オオバ」「よく調べたら嘘だなこれ、架空だな」「寝ほけないでくださいよ」「湊の水増しして、架空工事やって」「堀内、近江、後藤、みんな嘘ついてるんじゃないですか」「悪質な業者」は、地方自治法第132条「普通地方公共団体の議会の会議又は委員会においては、議員は、無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならない。」とする規定並びに石巻市議会会議規則第139条「議員は、議会の品位を重んじなければならない。」及び第141条「何人も、会議中は、みだりに発言し、騒ぎ、その他議事の妨害となる言動をしてはならない。」とする規定に抵触し、石巻市議会の品位を汚し、その権威を失墜させ、議会の秩序を乱し、円滑な運営を阻害した。

### ◆懲罰内容

8日間の出席停止

## 修正動議の内容

### 津波復興拠点整備事業費として計上されている設計業務委託料2200万円を削除するもの

震災復興基金を活用して、市役所、市立病院、ささえあいセンターを結ぶ歩行者デッキに高齢者や障がい者の方のためのバリアフリー化を目的としてエレベーターを2基設置するとして、令和2年度一般会計予算に設置調査費を計上しているが、現在設置されている市役所等のエレベーターで十分に対応できること、また、今後の財政状況は厳しいとの見通しが示されており、最小の経費で最大の効果を生む運営こそが行政の役割であることから修正を提案する。



# 第1回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第53号議案	議員発議1	議員発議2
1	阿部 浩章	○	○	○
2	佐藤 雄一	×	○	○
3	高橋 憲悦	○	○	○
4	阿部 和芳	×	○	○
5	木村 忠良	議	議	議
6	黒須 光男	×	退場	出席停止
7	楯石 光弘	○	○	退席
8	奥山 浩幸	○	○	忌引
9	遠藤 宏昭	○	○	○
10	大森 秀一	○	○	○
11	櫻田 誠子	×	○	○
12	鈴木 良広	×	○	○
13	青木まりえ	○	○	×
14	千葉 正幸	○	○	×
15	星 雅俊	○	○	×
16	青山 久栄	○	○	×
17	阿部 正敏	○	○	×
18	齋藤 澄子	○	○	×
19	阿部 久一	○	○	○
20	丹野 清	○	○	○
21	安倍 太郎	○	○	○
22	阿部欽一郎	×	○	退席
23	森山 行輝	×	○	○
24	渡辺 拓朗	×	○	○
25	千葉 眞良	○	○	×
26	山口莊一郎	○	○	×
27	高橋 栄一	○	○	×
28	西條 正昭	○	○	×
29	後藤 兼位	○	○	×
30	水澤富士江	○	○	×
賛成		21	28	13
反対		8	0	12

※ ○：賛成、×：反対、  
欠：欠席、  
議：議長は採決に加わりません。



起立採決の様子

## 第53号議案 工事請負の契約締結について （（仮称）大須崎灯台線道路改良工事）

2月26日の条例案等審議では、第53号議案について、森山行輝議員が議案に反対の立場から、討論を行いました。

討論内容は、契約の相手方について、市の役務請負において業務不履行があったにも関わらず、新たに工事請負を行うことについて市のチェックミスではないかとして反対したものです。

提案された議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

## 議員発議1 6番黒須光男議員に対する懲罰の件

2月27日に提出された懲罰動議について、懲罰特別委員会での審議を経て、3月10日の本会議において、起立採決の結果、全会一致で可決されました。

## 議員発議2 第37号議案 令和2年度石巻市一般会計予算に対する修正動議

3月17日の委員長報告後の一括審議では、第37号議案について、阿部久一議員ほか2名から提出された修正案に対し、討論がありました。

討論は、遠藤宏昭議員より提案者である市長が迷っている議案を可決すべきでないとして修正案に賛成の立場から、また、阿部正敏議員より産業建設委員会で慎重審議し、可決すべきものとしたことから修正すべきでないとして修正案に反対の立場から行ったものです。

提案された議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

## 各常任委員会審査報告

2月26日から28日の本会議で、予算や条例、補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査された中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

### 総務企画委員会

石巻市交通安全指導員条例を廃止する条例

**Q** 有償ボランティアへの移行経過および今後の名称について伺う。

**A** 法改正に伴い、これまで非常勤特別職としていた交通安全指導員の身分を有償ボランティアと会計年度任用職員の二通りで検討したところ、交通安全指導員および交通安全指導隊の業務には有償ボランティアが有効、かつこれまでどおりの活動ができることから有償ボランティアに移行することとした。名称については、交通安全指導隊という名称を継続する予定である。

**Q** なり手不足への対応について伺う。

**A** 地域の交通安全普及活動、街頭指導等には交通安全指導隊員による力が一番重要と考えているため、交通安全指導隊と協議しながら人員確保に努めた。

令和2年度石巻市一般会計予算

**Q** RPA利活用業務の選定基準および業務委託の内容について伺う。

**A** 対象業務の調査を実施し、10課から69業務の回答があった。庁内業務は、手書きの書類を受け取りデータ化しての処理が大半であり、RPAは、そういった業務を自動化するところで効果を発揮するため、対象業務から業務量、従事時間および担当課のニーズを考慮し、導入が効果的に見込める5業務を選定した。

**Q** 業務委託については、運用状況等を踏まえ、RPAがどの部分で威力を発揮できるのかの調査も含め、実証していく内容である。

**Q** 温州市との経済交流について伺う。

**A** 昨年の30周年記念事業で温州市を訪問した際に、今後の経済交流の提案と協議をしている。国どうしの経済交流では、整理をしていかなければならない部分があるため、情報共有をしながら、きっかけを切り開き、そこから経済交流を進めていきたい。

**Q** 河北消防署の現状および建設スケジュールについて伺う。

**A** 供用開始から47年が経過し、天井からの雨漏りやカビの発生が進んでいる。また緊急出動の際の動線に困難が生じている。

**Q** 建設スケジュールについては、令和2年度が地質調査、令和3年度に基本設計および実施設計、令和4年度から令和5年度にかけて建設という計画である。

### 環境教育委員会

石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

**Q** 門脇中学校および石巻中学校の統合スケジュールについて伺う。

**A** 統合は、令和3年4月を目標とし、現在、統合準備委員会と専門部会を設置し、統合に向けた調査・検討・協議を進めている。今後は、各行事のスケジュールを決定し、来年3月の門脇中学校の閉校式後の引越し作業を終えて、4月に石巻中学校に統合する。

**Q** 閉校後の門脇中学校の校舎、体育館および校庭の利活用について伺う。

**A** 現時点では未定であるが、校舎が進んでおり、改修工事が行われる際は、門脇中学校を仮設校舎として代替活用するほか、門脇中学校の利活用が決まるまでの間、体育館、校庭は部活動での使用を検討してもよいのではないかと考えている。

令和2年度石巻市一般会計予算

**Q** ごみ集積所設置支援事業の内容について伺う。

**A** ボックス型や折り畳み型のごみの飛散防止対策を講じた集積所を設置する町内会に補助金を助成する事業である。

**Q** 桜坂高校における網戸設置の状況について伺う。

**A** エアコン未設置の普通教室に網戸の設置を検討した。特注品となり費用が高額であるが、エアコンの設置を考えれば安価となることから、今後検討し、関係部署と協議していきたい。

令和元年度石巻市一般会計補正予算(第7号)

**Q** 小学校教育用コンピューター関係費の入札状況について伺う。

**A** 第1回目の入札を昨年6月に行い、落札した業者は、株式会社S

K2石巻営業所であったが、仕様に見合った物品が入荷できないことが判明したため、落札を取り消し、中止とした。その後、9月の第2回目の入札では参加業者が、1社のみであったことから、入札不調となった。さらに、10月の第3回目の入札では仕様内容の一部変更し実施したところ、落札業者は、第1回目と同じ業者であった。

**Q** 契約の履行状況について伺う。

**A** 昨年10月31日に契約を締結し、納入期限を本年2月28日としていたが、期限日までに教材ソフト等の付属物品の調達が間に合わず、納入未済となったため、契約業者はその顛末の報告を指示した。

**Q** 契約不履行への対応について伺う。

**A** 納入未済の物品の納入見込みの回答が契約業者からあったが、契約不履行となるか検討中で、法律等に従い、入札担当課の指導を受けながら適切に対応していく。

### 保健福祉委員会

石巻市ささえあいセンター条例

**Q** 駐車場料金を本庁舎駐車場と統一することはできないか。

**A** ささえあいセンターは地域包括ケアの推進事業を行うことが目的であり、その性質上、統一的な扱いをすることは難しい。なお、使用料については、隣の市立病院を参考にしている。

**Q** ささえあいセンターを指定管理するまでの直営の期間は。



**A** まずは市で1年か2年、運営を行い、施設運営の実績を整えた上で、指定管理者制度に移行する。

石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**Q** 改正による子育て世帯の経済的負担軽減の内容は。

**A** 一人当たり8640円減免され、令和2年度予算では対象者2300人、予算上は年間約2千万円と見込んでいる。

令和2年度石巻市一般会計予算

**Q** ささえあいセンターを建設することにより本市の福祉政策をどう展開していくのか。

**A** 包括的な相談支援機能や子育て支援のほか、支えあう地域づくりのためのボランティアリーダー担い手育成研修および医療・介護連携のための人材育成研修、相互交流研修などもささえあいセンターを拠点として事業展開していきたい。

**Q** 子ども食堂運営費補助金は、使い勝手が悪いという話があると聞かれます。

**A** 使い勝手の悪さや申請時期の遅れなど利用に至らなかった要因があることから、令和2年度の申請時期にはより使い勝手の良い補助金にしたい。

**Q** 移動型ブレイクパーク運営費補助金ではなくて、新興住宅へ常設で実施することは模索できないか。

**A** 子どもの居場所を作ることは重要と考えているが、常設型は財源

的にも厳しく、民間企業の活用といった手法も検討しながら居場所づくりを進めていく。

令和元年度石巻市一般会計補正予算(第7号)

**Q** 風疹予防の追加的対策や高齢者用肺炎球菌の予防接種の勧奨が必要では。

**A** 風疹予防の追加的対策は令和元年度から令和3年度まで実施するが、今年度受けられない方についても、来年度受けられることができる。また、高齢者用肺炎球菌の予防接種は、国の制度が5年延長されたため、継続して実施する。

### 産業建設委員会

石巻市十八成浜ビーチパーク条例

**Q** 年間の入り込み数やシャワーの利用料金について伺う。

**A** 入り込み数については、震災前と比べ開設期間が長くなることから、震災前よりも多い約1万人を見込んでおり、シャワーの利用料金については無料である。

石巻市空家等の適切な管理に関する条例

**Q** 仕組みについて伺う。

**A** 調査により1年以上使用されていない建物为空家等と認定している。倒壊等により周囲に影響を及ぼすことが想定される空家等については、所有者等に連絡し、立入調査等により、特定空家等に認定している。具体的な認定要

件等については、空家等対策協議会に意見を伺いながら、対策計画を策定していく。

令和2年度石巻市一般会計予算

**Q** 松くい虫対策事業による空中散布の対象地域と時期について伺う。

**A** 田代島および網地島を対象としており、散布時期は6月から7月である。

**Q** 漁船誘致および原魚確保対策の内容について伺う。

**A** 原魚の確保のために船主等への働きかけや、優良漁船の表彰等を行い漁船誘致している。

**Q** 漁港台帳電子化業務のスケジュール等について伺う。

**A** 平成30年度から令和2年度までの3か年で全ての漁港の台帳を整備する予定であり、令和2年度については、業務委託により現地確認や資料整理を行い、台帳整備していく。

**Q** 産業振興計画策定業務の概要について伺う。

**A** 令和3年度からの10年間の計画とし、令和2年度で終了する企業誘致推進計画や観光復興プランを包含した形で策定していく考えである。

**Q** 中心市街地活性化事業の内容について伺う。

**A** 中心市街地活性化基本計画に基づく、RPGアプリを作成する。石巻圏DMO推進事業の内容について伺う。

**A** 大規模イベント連動旅行商品や被災地支援ツアー等、東松島市、女川町も含めた商品を作成、販売してお

り、今後は、3自治体が連携し、商品の開発やPRを行っていく。

**Q** 公園緑地整備工事の対象について伺う。

**A** 令和2年度は大橋中央公園および渡波北部1号公園であり、他の公園についても年次計画により施設整備していく。

令和2年度石巻市下水道事業会計予算

**Q** 公営企業会計となる目的とメリットについて伺う。

**A** 下水道事業の計画性や透明性の確保、経営状況や財政状況のより明確な管理および安定的な運営等の実現を行うことを目的としており、経営状況等が一般の方にも見て分かるという部分で透明性が図られることがメリットである。

### 第1回定例会に提出された陳情

■学校給食の公費負担（無償化や一部負担）と給食の改善を求める要請書

(提出者)国民の食糧・農業、健康を守る宮城県連絡会 代表世話人 鈴木 新

■2021年度介護保険法改定に向け介護保険制度の抜本改善を求める国への意見書提出を求める陳情書 (提出者)NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ

理事長 内館 昭子 外6名

※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。



## ～会派代表質疑～

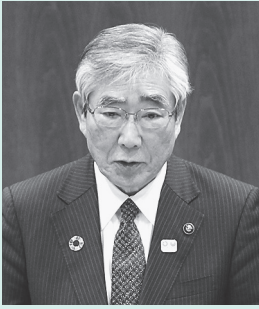
# 施政方針をたたく

第1回定例会の初日、亀山市長による施政方針演説が行われ、各会派の代表者がこの施政方針に対する質疑を行いました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

### 施政方針要旨

#### 重点施策

- 一、安心して暮らせるまちづくり
  - ・コンパクトなまちづくり
  - ・災害に強いまちづくり
  - ・防災体制強化の推進
- 二、産業振興と人づくり
  - ・産業基盤の強化
  - ・企業の立地による雇用拡大
  - ・産業を担う人材育成
  - ・農業・漁業の担い手育成
  - ・観光産業の振興
- 三、子育てしやすい環境づくり
  - ・子育て世代の負担軽減
  - ・子育て施設の充実
  - ・教育環境の充実
- 四、市民の健康づくり
  - ・健康寿命の延伸
  - ・こころと体の健康増進
  - ・医療体制の充実
  - ・地域包括ケアの推進
- 五、絆と協働の共鳴社会づくり
  - ・コミュニティ形成と人材育成
  - ・定住・移住の促進
  - ・交流人口の拡大
  - ・震災の伝承

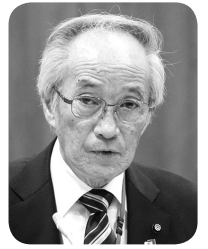


亀山 紘 市長

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質疑を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

### 施政方針に対する質疑通告一覧

会派名	代表者名	質疑事項
ニュー石巻	阿部 欽一郎	1 市長の政治姿勢並びに課題に対する考えについて 2 5つの重点施策について 1) 安心して暮らせるまちづくり 2) 産業振興と人づくり 3) 子育てしやすい環境づくり 4) 市民の健康づくり 5) 絆と協働の共鳴社会づくり 3 予算編成について 4 復興完結にかける思いについて
創生会	山口 荘一郎	1 震災復興基本計画最終年度にあたっての基本姿勢について 2 安心して暮らせるまちづくりについて 3 産業振興と人づくりについて 4 子育てしやすい環境づくりについて 5 市民の健康づくりについて 6 絆と協働の共鳴社会づくりについて
公明会	渡辺 拓朗	1 市長の政治姿勢について 2 安心して暮らせるまちづくり 3 産業振興と人づくり 4 子育てしやすい環境づくり 5 市民の健康づくり 6 絆と協働の共鳴社会づくり 7 予算編成について
日本共産党 石巻市議団	水澤 富士江	1 「安心して暮らせるまちづくり」について 2 「産業振興と人づくり」について 3 「子育てしやすい環境づくり」について 4 「市民の健康づくり」について 5 「絆と協働の共鳴社会づくり」について 6 市税収入の推移と今後の動向について



ニユー石巻(会長)  
阿部 欽一郎 議員



**問** 大川小学校訴訟に関する賠償金約20億円の対策と影響について伺う。

**答** 今年度から10年間にわたる、宮城県に対する償還金は一般財源であることから、特殊財政事情として特別交付税の交付を要望申請するなどし、可能な限り予算編成に影響がでないよう努めてまいります。

**問** 妊婦のコロナウイルス感染が原因で新生児が陽性との報道がある。妊婦さんへのケアについて伺う。

**答** マスク需要の急激な高まりで品薄状態が深刻化しており、免疫力が低下する妊婦への配布枚数を、十分に確保できない厳しい状況にある。今後の供給状況を見極めながら、妊婦への配布について検討してまいりたい。(その後東松島市の協力で配布されました)

**問** 本市独自の国民健康保険税子ども均等割減免の概要と効果について伺う。

**答** 年齢や所得に関係なく、18歳未満の子どもに対しても一律に課税され、子育て世帯の経済的負担が大きく、扶養者が居ても保険料が変わらない被用者保険等との不公平感に繋がっている。子育て世帯の負担の軽減を図り、子育てしやすい環境づくりの一助とすることを目的として、満18歳未満の子どもの均等割保険税の3割を減免するもの。

**問** 子育て世代に対する新規事業の周知と同世代の心身面の負担軽減について伺う。

**答** 従来からの周知方法に加え、今年度からは、子育て支援アプリを導入し、スマートフォンやタブレット端末により新規事業の周知を図っていく。また、子育て世代を包括的に支援できるよう、ささえあいセンター内に子育て世代包括支援センターを新たに設置し、不安や課題を抱える親子に対して、継続した相談支援ができる体制の強化に努める。

**問** 大川小、門脇小の震災遺構の推進体制は。

**答** 東日本大震災の事実と教訓を永続的に伝承するため、伝承活動団体との連携や語り部の育成検討、青森・岩手・宮城・福島の被災4県を結ぶ3・11伝承ロードとの連携を強化する。



創生会(幹事長)  
山口 荘一郎 議員



**問** 台風19号による復興土地区画新市街地での雨水冠水の受け止めは。

**答** 重大な問題として受け止めている。日常点検の徹底はもとより、パッケージポンプや仮設ポンプ追加設置など冠水対策を強化する。雨水排水ポンプ場の整備については、残り8カ所の今年度中の完成に向けて取り組む。

**問** 震災復興基本計画の最終年度。復興の積み残しや新たな課題の把握は。

**答** 6つの専門部会で評価・検証を行い、継続課題などは次期総合計画へ位置付ける。

**問** 半島沿岸部の地盤かさ上げ等の見直しは。

**答** 非常に厳しいスケジュールだが、今年度末までの完了を目指す。

**問** 大川小学校訴訟の確定判決において、学校側には第三次避難場所とされる箇所はプレハブ小屋の設置や照明、情報機器などの設置を石巻市に求める義務が認められた。児童の避難場所に係る環境整備をどのように行うか。

**答** 幼稚園および学校からの改善の申し出に対して、必要ならば設置者として適切な措置を講じることとしている。

**問** オリーブ推進体制の課題は。

**答** 果実の収穫量増加、本格栽培への切替、民間事業者による栽培移行後の圃場造成費等の支援、未収益期間の経営基盤体制の構築が課題であり、試験栽培後の樹木は原則払い下げとする方向で検討する。

**問** 企業誘致の課題は。

**答** 3年で12件の企業立地目標に対して、現時点(1年目)で2件の実績。工業用水の未整備、強固な地盤の産業用地不足が課題である。

**問** 保育所への会計年度任用職員制度導入による弊害はないか。

**答** 保育所等の運営や保育に支障が生じないよう、保育供給量の確保や保育人材の適正配置に取り組む。

**問** 新公立病院改革プランの実績と今後の課題は。

**答** 医療機能についてはおおむね目標達成したが、経営指標の多くで目標を下の回った。特に牡鹿病院は厳しい状況であり、「牡鹿病院あり方検討委員会」を立ち上げた。

**問** 地域の担い手育成への取り組みは。

**答** 研修会の開催やアドバイザー派遣などで地域の担い手としての人材育成に努める。





公明会(会長)

渡辺 拓朗 議員



・市長の政治姿勢

**問** 女川原発の再稼働に向けた議論が偏らないよう、再稼働のぜひに関わらず、発生する廃炉予算の負担は誰がするのかという議論や、またUPZ避難計画やCO2の削減など幅の広い資料を中立的な石巻市が提示すべき。

**答** 専門家と議会の意見をしっかりと聞きながら、あらゆる面から中立的立場で総合的に勘案し対応する。

・安心して暮らせるまちづくり

**問** 市営住宅の用途廃止に伴う入居者の移転事業は家賃の減免や引っ越し補助、障がい者や持病のお持ちの方、車の有無等への配慮が大事である。どのように移転促進を図るのか。

**答** 提言の配慮等を踏まえ、検討する。

**問** 求人倍率が2・17と高いが逆に市民へのアンケート調査では雇用の創出を望むが半数を超えており極端な雇用のミスマッチが発生しているが、施政方針にミスマッチ対策はどこにもない。どのように捉えているのか。

**答** 最重要課題と認識している。ハローワークや企業、合同企業説明会、見学会などミスマッチ解消に向けさらに努力する。

・子育てしやすい環境づくり

**問** 令和3年度から実施の産後ケア事業を、助産師不足の中、準備をどのように進めていくのか。

**答** 現在、ニーズ把握のアンケート調査をしている。産科医療機関や助産師会と協議を進めている。

**問** 特別支援教育支援員の配置は充足していない。今年度はどの程度増員するのか。

**答** 昨年度より3名増員の88名体制をとる。

・予算編成について

**問** 歳入増の明るい情報がない中、歳出削減策がどこにも見えない。どのように考えているのか。

**答** 民間委託の導入や行財政運営プランに掲げる公共施設維持管理費の節減や統廃合などの各種施策を確実に実行する対策を講じながら歳出削減に取り組んでいく。



日本共産党石巻市議団(団長)

水澤 富士江 議員



一 SDGsを標榜する石巻市として、発電所について考え方を伺う。

**問** 女川原発2号機の再稼働による安全性と避難計画の有効性について。いよいよ再稼働が現実味を帯びてきた。新規基準は、「世界でもっとも厳しい水準」どころか、世界では最新の原発に標準装備されているコアキャッチャーを要求しておらず、それに代わる溶融炉心対策として、格納容器下部に水を張り受け止める対策としている。これは安全どころか水蒸気爆発を招く危険がある。

**答** 「避難計画」について。多くの市民が参加しての避難訓練は一度も行われていない。14万市民が本当に安全に避難できるのか、再稼働の第一の条件である。大川小学校の痛苦の教訓は、事前防災です。市長はふるさと石巻を守り、市民の暮らしと生命、財産を守るための判断をするべきです。

**問** 避難訓練は絶対必要。

**答** 須江地区に建設が予定されているG・Bio石巻須江発電事業の安全性について。

地元ではたくさんの方の不安の声がある。住宅密集地・保育所・学校が近い場所での発電事業は聞いたことが無い。排ガスの心配、トレーラーが毎日40台港から往復するなど心配等。

市長は石巻の環境を守るため県に働きかけるべき。

**問** 環境影響評価(アセスメント)準備書を確認し対応する。

二 「産業振興と人づくり」について

**問** 気候変動に伴う市産業への影響について

**答** 持続可能な開発目標(SDGs)の目標にも掲げられる深刻な問題。市水産業は水揚げ量の減少、加工業では原魚不足、高騰により厳しい。農作物へ台風による大雨、高温障害など一次産業への影響がある。

三 「子育てしやすい環境づくり」

**問** 市の調査によれば、子どもが生まれたとき「職場に育児休業の制度が無かった」との回答が多い。経営者に啓発、周知を。

**答** 今後議論を深める。

# 一般質問

## 議員17人が登壇 市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、17人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。)	
<b>①遠藤 宏昭</b> 1 石巻市ささえあいセンター及び石巻市防災センターの活用について 2 蛇田新橋の整備工事について	<b>⑩星 雅俊</b> 1 自然災害への対応について 2 女川原発再稼働の是非の判断ポイント、長所・短所について 3 ㈱東北電力と自治体との安全協定等について 4 避難計画の安全性について 5 女川原発再稼働の住民投票条例の設置について
<b>②阿部 和芳</b> 1 市長の政治姿勢について	<b>⑪後藤 兼位</b> 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
<b>③齋藤 澄子</b> 1 防災対策について 2 石巻市教育振興基本計画「確かな学力の育成」について 3 住民の声に寄り添った政策に	<b>⑫高橋 憲悦</b> 1 新しいまちづくりへ再起動、再生石巻市の実現に向けて
<b>④大森 秀一</b> 1 桃生道の駅について 2 北上桜公園について 3 台風19号の被害状況と復旧状況について	<b>⑬青山 久栄</b> 1 高齢者の介護予防と生活支援について 2 市立病院の地域医療に果たす役割について
<b>⑤森山 行輝</b> 1 日本語学校誘致について 2 新型コロナウイルスによる肺炎感染拡大について 3 東京オリンピックパラリンピックの聖火到着について	<b>⑭西條 正昭</b> 1 東日本大震災からの復旧・復興加速完結について 2 SDGs「持続可能な開発目標」「SDGs未来都市」への選定について 3 安心して暮らせるまちづくりについて 4 新型コロナウイルス感染防止対策について
<b>⑥鈴木 良広</b> 1 「石巻シティプロモーション戦略」について 2 「介護の現状と課題」について	<b>⑮楯石 光弘</b> 1 放課後児童クラブについて 2 文化芸術振興、その推進と実績について 3 内陸部のインフラ整備について
<b>⑦千葉 正幸</b> 1 国・県の施設誘致について 2 農業振興について 3 取り残されている桃生の諸課題について	<b>⑯阿部 正敏</b> 1 地域の復興はどのように進んでいるのか 2 医療資源の確保と医療費の抑制について
<b>⑧阿部 浩章</b> 1 子育て支援について 2 認知症対策について 3 沿岸・半島部の復興事業について	<b>⑰櫻田 誠子</b> 1 GIGAスクール構想について 2 子育て支援について 3 健康対策について
<b>⑨佐藤 雄一</b> 1 ソーシャルファームについて 2 地方創生RPGアプリについて 3 ゴミ集積所設置支援について 4 野焼きについて 5 石巻新庄道路の整備促進について	※19名の議員から一般質問の通告がありましたが、黒須光男議員に対し、懲罰が科せられ、3月10日から3月17日までの8日間の出席停止及び奥山浩幸議員より忌引のため質問通告の取下げがあったため、今定例会の質問者は17名となりました。





遠藤 宏昭 議員



・ささえあいセンターの利活用について

問 ささえあいセンターはどのような施設か。また、市民はどのような場面で利用するのか。

答 医療・保健・介護・福祉を地域と連携して一体的に提供する「地域包括ケアを推進する拠点」ポランティア活動・市民活動・福祉まるごと相談など。

問 地域包括ケアとは何か。

答 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、生活支援などを包括的に提供する体制。

問 地域協働・地域連携・地域が基本など、行政が口先ばかりで実質が伴わず、地域に丸投げしている、市民は誰も付いて来ない。地域包括ケアとは、身近な自助・互助の活動であるということを市民に理解されなければいけない。センターが市民に親しまれ、気軽に足を運び、大いに利用されてこそ設置目的が達成される。見解を伺う。

答 議員からの指摘を受け、地域住民を含めた協働の取り組みにより進めるためにも丁寧に説明していく。

・蛇田新橋の整備について

問 蛇田新橋の完成予定はいつか。また、通行の障壁だった水道管は撤去されるのか。

答 令和3年3月末を予定。水道管撤去後、北北上運河の下を通す工事を予定。

問 蛇田新橋開通後、通過車両の増加が見込まれる。西側200メートル先、国道45号と国道108号の交差点改良（右折レーンの設置）が必要になってくるのでは。

答 国土交通省にしっかりと要望していく。



阿部 和芳 議員



問 市長の政治姿勢について「復興期間最終年度」をどのように取り組んでいくか。終了後のまちづくりについて伺う。

答 復興事業完遂に向け、全力で取り組む。被災者の心身ケア等ソフト事業を継続的に支援し、笑顔で暮らせるまちの実現を目指す。

問 ハコモノが次々建設され、少子高齢化社会を迎えている中で指定管理料や委託料と施設維持費が増大し財政圧迫へと繋がって厳しい状態になっている。東北最大の造船会社ヤマニシの会社更生法の適用を受けた問題、収束が見えない新型コロナウイルスによる影響など独自支援策も必要になってくる。

答 国の方針を確認し、市の独自支援策を検討していきたい。

意見 地域自治システムの進め方を職員誘導型にし「誰一人取り残さない」理念の基、シビックプライドが重要だ。また、人口減少を分析すると出産世代が当市において減少が著しくなっている。少子化対策ではなく少母化対策が重要だ。魅力あるまちづくりには「若い女性」を呼び込む施策が大事だ。魅力あるクリエイティブな仕事や市立病院への産婦人科医招聘は喫緊の課題だ。牡鹿半島荻浜湾流域森林再生25年計画のような夢のある関係人口を増やすことを提言する。



齋藤 澄子 議員



1 防災対策について

問 排水設備の効果について震災後、新たに設置された折立第一ポンプ場の排水能力はどれだけか、また、折立で冠水したのは排水路の大きさがポンプの処理能力を下回っていたからではないか。

答 既設水路の改良等、復旧・復興事業完了後、計画的に整備を進めていく予定。

2 石巻市教育基本方針「確かな学力の育成」について

問 確かな学力の育成。学力について、どのように考えているか。会派視察で埼玉県加須市の取り組みを聞いたが生かすことはできないか。

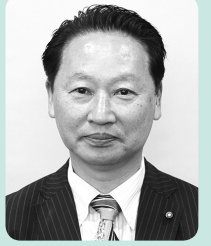
答 基礎・基本となる事項を身につけるよう指導し、教員の指導力向上のための研修会実施、学習習慣の形成のための家庭用リーフレット作成などを継続し確かな学力を育成していきたい。

3 住民の声に寄り添った政策に

問 発電所建設計画と女川原発再稼働について市内にさらに発電所建設予定に対する市民の声を聴いてほしい。

答 原発再稼働は、市民の意見を聴く仕組みをつくり、再稼働に対する市民の意思を確認すべき。また、万が一の事故の際の避難計画は実行性に乏しいと考えるがどうか。

問 発電所建設については様子を伺う。  
答 女川原発の再稼働は原子力規制委員会の審査や安全性検討会の意見を参考にし、住民の代表である議会の意見を伺い、総合的に勘案したい。避難計画の具体化・充実化と避難計画の実効性向上に努める。



大森 秀一 議員



### 1 桃生道の駅について

**問** 桃生道の駅構想の具体的内容と各地区には主要施設が整備されているが桃生地区の主要施設になりえるものが見解を伺う。

**答** 桃生地区における「人」「もの」「交通」の交流を担う中核的施設に位置づけられる。国は、幹線道路へのアクセス性を考慮し、道の駅の防災機能を重視する方向性を示しており、防災機能についても検討を進めている。

**問** 総合計画に取り上げ、さらに重要施策に位置づけるべきと考えるが見解を伺う。

**答** 事業規模から総合計画への位置づけが必要であることから、市の計画、実施中の施策、事業を総合的に勘案し、重要施策の位置づけについて検討する。

**問** 亀山市長の選挙公約でも桃生「道の駅」構想の実現を掲げているが実現について伺う。

**答** 桃生「道の駅」構想実現は、桃生地区の方々が大変期待していることから、早期実現を目指し、十分に協議、検討を重ねていく。

### 2 台風19号被害と復旧について

**問** 稲わらの処理について

**答** 石巻市農業再生協議会が実施主体となり稲わらの収集作業にあたっており、宮城県を通じて県内外での焼却処分について検討中である。

**問** 排水対策について

**答** 後谷地、鶴家排水機場の管理費に対する県の負担割合が1パーセントであることから今後も負担増に向け要望していく。



森山 行輝 議員



**問** 日本語学校誘致について

①その概要について伺う。②この件に関しての市の認識について伺う。③立地について、当市も立候補すべき。

**答** 日本語学校は法務省が定めている日本語教育機関で、滞在する外国人の皆さんを対象に在留資格「留学」を付与することができると教育機関である。この学校誘致は、人口減少に苦しむ地方都市にとって、地域の活性化に繋がるもので、早速立候補したい。

**問** 新型コロナウイルスによる肺炎感染拡大について

①現状における市の見解を伺う。②万が一に備える市の体制について伺う。

**答** 本県でも感染者が発生し、さまざまな分野での影響が懸念されている。感染症の発生や拡大に備えるため、石巻市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置、イベント、行事は延期や中止、図書館、公民館などの市内公共施設も休館とした。本市で感染者が確認された場合は、宮城県がきちんと対応することになっている。

**問** 東京オリンピック、パラリンピックの聖火到着について

①この件に関してセレモニーの考え方は。②聖火リレーのコースを伺う。

**答** 石巻南浜津波復興祈念公園内で「復興の火」の迎え入れを含む式典を考えている。聖火リレーのコースは市内2カ所を通過するコース、JR石巻駅前から、石巻かわまち交流センターまでと、石巻総合運動公園南ブロックから石巻市民球場までである。



鈴木 良広 議員



### ・「石巻シティブロモーション戦略」について

**問** 自治体としての「営業活動」を指すシティブロモーション。地域の活性化を図るための具体策と課題について伺う。

**答** シティブロモーションについては、少子高齢化や人口減少を背景に各自自治体が魅力発信を積極的に行っており、都市間競争が激化している状況にある。本市としてはツール・ド・東北や、リボンアート・フェスティバルなどのイベント開催を通し、国内外へ本市の魅力発信に努める。

### ・「介護の現状と課題」について

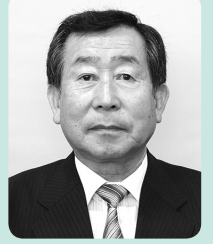
**問** 障害者や高齢者が公共施設等を利用する際、快適に利用できる環境整備の考え方と取組について伺う。

**答** 考え方としては、障害者や高齢者のみならず、全ての市民が元気に暮らせる社会実現を目指し、環境整備を進めている。取組みとしては、駅前広場のトイレや3月末完成予定のささえあいセンターにおいて、障害者や高齢者、子育て世代にも安心して利用いただける仕様としている。

**問** 静岡県の取り組みで普及している「介護マーク」。付き添い介護をしている家族が外出先で異性のトイレなどに同行しなければならぬケースがあり、周囲から誤解や偏見を受ける事もある。障害者の付き添いであることを周囲の人に一目で分かってもらうための「介護マーク」を本市でも普及させるべきでは。

**答** この取り組みについては、進める方向で検討したい。





千葉 正幸 議員



・石巻市へ国・県施設の誘致について

問 石巻市は自費で施設を作っているが、宮城県第2の県都として国や県の施設誘致の考えは。

答 国・県の動向を注視し、定住や交流人口の拡大につながる施設を、機会を捉えて要望する。

・農業振興について

問 農業振興地域整備計画が更新となるが、農用地区域は農地転用に個人の権利が制限される。農家へ十分な周知と農業関係団体との意見調整は。

答 市報等で周知し、本庁と総合支所に30日の縦覧期間を設け、農地所有者へ十分な周知を図る。また、関係団体と意見調整する。

・取り残されている桃生の諸課題について

問 桃生道の駅は市長公約から取り残されて7年が経過する。コンセプトと今後の具体化は。

答 三陸沿岸道に縦断する地域に必要な、広域的防災拠点という切り口で早期に方向性を見出す。

問 桃生球場はプロ野球イースタンリーグを5回開催し、宮城県体では、市民球場・河南球場より多い、6チームを受入れている。市民球場と河南球場の改修が完了したが、取り残されている桃生球場の電光掲示板はいつになるのか。

答 今年度は内野と外野の段差解消を行う。電光掲示板は利用状況を考慮し整備を検討する。

問 合併に託し、15年も取り残されている河北境一号線は、取りあえず農作業運搬道としても整備できないか。

答 抜本的な改良は現状からして厳しい状況だが、段階的になるが、舗装工事等で対応する。



阿部 浩章 議員



・沿岸・半島部の復興事業について

問 沿岸半島部は、本庁地区と比較し、復興事業が遅れており、人口減少と過疎化が顕著であり、さまざまな問題がある。このままでは地域の文化の継承、コミュニティへの影響は甚大である。合併したから組織が迅速に動けず遅れたのではないかとこの市民の声も聞こえてきている。沿岸半島部の復興完結のため何う。

答 雄勝「道の駅」構想の今後について何う。

問 令和3年4月を目標に「道の駅」として登録いただくよう、国と県に申請に向けて協議を重ねている。登録されると雄勝地区の観光客増加の効果が図られることから大きな期待をしている。

答 小島明神漁港防潮堤整備事業について何う。

問 これまでの工事の遅れについては、十分に反省し、令和2年度中の完成を絶対成し遂げるようがんばる。

・子育て支援について

問 待機児童や認可保育施設に入所できなかった数を考慮すると早急な小規模保育所A型等の設置が必要と思うが何う。

答 議員ご提案の小規模保育所Aの設置は有効な方法と考えている。既存の保育施設の拡充と併せて検討していく。既存の保育施設の拡充と併せて検討していく。

問 人材確保と定着の取組みについて何う。

答 本市独自の就職支援金、資格取得支援金および奨学金返済支援金を助成する事業を継続する。

・認知症対策について

問 認知症診断の検査費用の助成について何う。

答 助成は効果があると考えるが、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、さまざまな認知症対策を推進していきます。



佐藤 雄一 議員



・ソーシャルファームについて

問 東京都議会では創設促進条例が成立した。障がい者や引きこもりの人など、就労が難しい人の支援について何う。

答 本市では就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援事業を行っており、新年度から就労準備支援事業を実施する。

・地方創生RPGアプリについて

問 概要と運用開始時期など何う。

答 石巻の歴史・史跡・名物などを盛り込んだスマホ向け冒険ゲームを制作し、来年4月の運用開始を予定している。

・ゴミ集積所設置支援について

問 どの程度の支援が受けられるのか何う。

答 購入金額の半分で、限度額を「ボックス型」で8万円程度、「折りたたみ型」は2万5千円程度で検討している。

・野焼きについて

問 たき火やキャンプファイヤーはOKのはずであるが、本当はどうなのか何う。

答 一部焼きは一部の例外を除いて禁止されている。一部の例外とは、どんと祭、農業の稲わら焼き、たき火やキャンプファイヤーなど。例外でも細心の注意を払って行う必要がある。

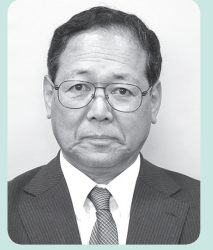
・石巻新庄道路の整備促進について

問 現段階の計画について何う。

答 現在石巻河南道路の計画段階評価が行われており、第2回目の住民アンケートが始まった。

提言 古川と石巻の中間である河南地区こそ、道の駅の立地に適しているのでは。

答 夢のある話と思う。研究する。



星 雅俊 議員



### 1 女川原発再稼働の是非の判断ポイント、長所・短所

#### ○経済性

問 国、県から市への交付金額等、女川原発の就労人数と2号機廃止時の各影響を伺う。

答 市へ交付金額は年約2億円。約5.5千万円減。企業への電気使用料への補助は、年3.3億円。廃炉時は影響なし。就労人数は、現在約2630名。廃炉時は、30〜40年かけて廃炉に向かう。

#### ○安全性

問 審査基準は、「世界一厳しい」と標榜するが世界標準のコアキャッチャー等もなく、世界一ではない。見解を伺う。

答 専門家の意見を伺い議論が必要。

### 2 原発から5から30キロメートル圏内の避難計画の安全性

問 5〜30キロメートル圏は、「最初の7日間の被ばく線量合計で100ミリシーベルトに達する」範囲で、被ばく前提の屋内避難である。国では、屋内避難は、「木造家屋に屋内避難の場合は、外部より25パーセント低減、コンクリート構造物避難は、50パーセント低減」、この所見を伺う。

答 100ミリシーベルトは高い値。低減は、十分理解していないので今後回答する。

### 3 住民投票条例の設置

問 市民の生命・財産に関わり、市の将来に重大な影響を及ぼす問題。市政の主人公は、市民であるならば、市長は、自らの判断を超えている事案に関し、住民投票で意向を踏まえ、その後、市議会で丁寧な議論をすべきではないか伺う。

答 住民の代表である議員の皆様の意見を伺い、総合的に判断する。



後藤 兼位 議員



問 復興を見据えた行財政改革と財政運営について。

答 令和2年度中に新たな行財政改革を策定し、限られた行財政資源の有効活用に取り組み。

問 入札制度改革。市税を確保するためには、地域経済の活性化が重要。復興期間終了後も市内企業が継続するために、入札制度において地元企業に優先発注すべきだ。

答 災害復旧工事を除く通常案件については地元企業への優先発注を基本とする。災害復旧工事においても、地元企業で施工可能なものは地元優先発注を行う。

問 令和2年度からの入札改革は。

答 総合評価方式を本格導入し、公共工事の品質確保を図る。

問 本格導入にあたって重点項目の中で、社会性としての労働福祉についてどう改正したか。

答 犯罪を犯した者等の自立および社会復帰に協力することを目的とし、その協力雇用主として登録があれば評価することにした。

意見 築き上げた信用を重視する企業にとつて罪を犯した人の雇用は抵抗感や困難さはある。就職支援が広く経済界全体を対象にした制度として官民で担っていくことが重要であり今回の入札優遇制度導入は意義があり評価したい。

問 復興公営住宅の諸問題。団地会で徴収している共益費を家賃に上乘せして徴収すべき。

答 収納を委託している県住宅公社と研究する。

問 被災者支援事業について

答 見守り支援を含め、被災者の課題解決のため各関係機関と連携、孤独死を未然に防止する。



高橋 憲悦 議員



### ・新しいまちづくりへ再起動、再生石巻市の実現に向けて

#### 問

①議会等で要望した次の事業の取り組みについて、陸上競技場の早期建設、テレビアンテナ共同組合への改修費の助成について  
②今後の行財政運営について、財政見直しと対応策、事務事業の選択と集中（例えば、利用者が少ない駅前市の庁舎と市立病院を結び歩行者デッキに、総額約3億5千万円を費やしてエレベータ2基を設置しようとするが、利用者の頻度と今後の維持管理費を考えると、一時見送られた方がよいのでは。）  
③就任から11年、市長の公約の達成度は。市内全域に浸透せず、ほんの一部だけの立ち上げに留まっている地域自治システム、風通しの良い職場環境について。

答 ①先進的な施設を視察し、建設手法等を検討する。

感想 議会が請願を採択した案件であるが、採択当時から進んでいないように感じる。

①今後、「議会懸案事項」に掲げ、国への要望や市独自の支援策について検討する。  
②エレベータ設置有きではなく、いろいろと検討したい。（以後の本会議で、エレベータ関連予算を削除する修正案が可決されました。）







青山 久 議員



・高齢者の暮らし支援について

問 本市では比較的元気な高齢者が多いが、何もしなければ遅からず要介護状態になる。日常生活の中で健康・体育施設などの利用料割引など閉じこもり防止に繋がる誘導策が必要ではないか。

答 今年度でほとんどの施設整備が完了するので優遇措置について検討したい。

問 ささえあいセンターが5月にオープンする。地域包括ケアシステムの肝でありながら、いまだに市民の不安を払拭できていない。在宅医療・介護の実際を体験できるコーナーの設置が必要ではないか。

答 常設は難しいが、一定期間、空きスペースを利用して検討したい。

問 介護事業所の人材不足は深刻である。奨学金返還支援事業のさらなる拡大で人材確保と定住促進を図れ。

答 事業効果が期待できない職種もあり、今後検討したい。

問 介護職の負担軽減、質の向上のため介護ロボットの導入補助や、介護度改善奨励金の交付などに取り組めないか。

答 介護ロボットの導入は石巻圏で1件の実績があり、介護度改善奨励金の交付と合わせ事業者と協議していきたい。

問 市立病院の健全経営と市民の安全な暮らしを支えるため、医師の確保は重要である。東北医科薬科大学生の修業後の本病院での勤務見込みは。

答 令和6年度から石巻地域に毎年4〜6人の勤務が見込まれ、医師不足は解消に向かう。



西條 正昭 議員



一、東日本大震災からの復旧・復興加速完結

問 国の復興・創生期間内にハード事業は全て完結するのか。またマンパワー確保の見通しを伺う。

答 国・県との事業間調整や台風19号の影響で一部事業に遅れもある。早期事業完了に向け取り組んでいく。前年度と比較すると30人程度の減員となる。

二、SDGs「持続可能な開発目標・未来都市」への選定

問 これまで2020年度の国の選定に対し、3度質問してきた、市長の決意を再度伺う。

答 全国で30団体程度選定されるSDGs未来都市と共に特に先導的な取り組みとして10団体程度選定されるモデル事業を目指し準備を進めてきた。

三、安心して暮らせるまちづくり

問 旧町の市民が安心して住めるまちづくり

- ①公共交通の環境整備
- ②簡易郵便局・コンビニ等の設置
- ③各河川の護岸整備・河床掘削工事等
- ④満砂タムの解消
- ⑤内陸部の急傾斜地の整備

答 公共交通は対応策を検討する。郵便局・コンビニ等は調査研究が必要と考えている。河川・護岸・河床・急傾斜地等は県に対し要望している。

四、新型コロナウイルス感染防止対策

問 ①小・中・高校等、休校措置後の授業時間確保

②休校時に児童保育に行けない子どもの居場所の確保

③保育所、学校給食の食材購入に対する対応

答 児童・生徒の学習に遅れがないよう家庭学習で補い、臨時休業終了後は感染の状況を踏まえ補習等の対応を検討する。



楯石 光弘 議員



・放課後児童クラブについて

問 子どもはかけがえのない宝、手をかけ心をかけ、磨きをかけねば良いものには成り得ない。待機見込みの現状とその対処策は。

答 主に蛇田54人、鹿又36人、開北20人、計画的に施設整備し、近隣施設の利用等早急に対処したい。

問 利用負担金の考え方と、より豊かな向上策は。

答 運営費の50パーセントが原則だが、半額以下の月額2000円。今後も時間延長等研究し、健全育成を目指したい。

・文化芸術振興、その推進と実績について

問 かつて石巻文化協会は県下最大の組織を誇っていた。文化協会の現状と課題は。

答 現在158団体2721名、高齢化による会員の減少が課題。

問 大震災で被災した家族の葛藤をテーマとした「咆哮(ほうこう)私たちはもつ泣かない」。地元による地元のための、石巻復興のための演劇を創り上げた。ラジオでも一人芝居で演じられた。いのちの感動を呼んだ。新たな文化芸術基本法にのっとった基本方針の見直しが必要と考える。

答 文化芸術の果たす役割は極めて重要であるため早急に見直ししたい。

・内陸部のインフラ整備について

問 河南地区の歴史ある集落広瀬新田地区は市街化調整区域のため新しく住宅を建てることのできないと不満が出ていた。見直しできないか。

答 現在県では土地利用制度の在り方が検討され、見直されつつあり、本市でもあり方を検討した



阿部 正敏 議員



**問** 大原浜防潮堤工事における海岸への3力所の出入り口閉鎖について、市側は住民説明会を実施した承はもらったと言っているが住民側には全く説明がない。

**答** 住民説明会において、図面等で防潮堤の高さ県道整備など説明をしていたが、出入口をふさぐことについては説明していない。言葉足らずで申し訳ない。

**問** 大原浜の漁業者1名しか出席していない、平成24年10月11日の漁業者説明会における「防災の観点から出入口を最小限にして整備するので、これまでの出入口は必要がなければふさいで良いかとの問いに、参加した人からは今使っていないので必要ない」という内容の議事録を、了承をもらったとの根拠としているのではないか。

**答** その通りです。

**問** 平成24年10月30日の大原浜住民説明会において、市側から出入口を閉鎖するという説明をなぜしなかったのか。出入口を閉鎖することを知らなかった住民は階段をつけてもらえばそれで納得るので対応してほしい。

**答** 復興期間令和2年度までの期間において住民説明会を開き住民の要望に添えて行きたい。



櫻田 誠子 議員



**・GIGAスクール構想について**  
**問** 昨年12月文科省の小中学校生の1人に1台のコンピュータ端末と校内高速大容量の通信ネットワーク整備方針に対する対応は。

**答** 約1万人の児童生徒に令和5年まで整備。ICT環境の整備は先進地を参考に、子どもたちが使いやすい教職員にも配慮したサポート体制を図る。保護者への説明は丁寧に行う。

**・子育て支援について**

**問** 時代に合わせた子育ての情報発信が必要。

**答** ご提案の電子版母子手帳式の子育て支援アプリの導入、祖父母手帳配布は2年度実施。昨年度62組のご夫婦が不妊治療。相談、支援事業は先進地を参考に寄り添う努力したい。

**問** 3年度実施の産後ケアについて。

**答** 300人超にアンケートを実施し、日帰り型を検討。産後検診の無償化は検討する。

**問** 双子など多胎児の支援に取り組むべき。

**答** 産前産後の支援が重要。多胎育児経験者によるピア・サポート支援や育児ヘルパー事業で多胎児への支援の在り方を検討する。

**・がん検診の受診率向上について**

**問** 乳がん自己触診啓発にマンモグラフィの配布。若い方の子宮頸がんが増加しているので、子宮頸がんワクチンを積極的勧奨はしないが、情報提供はすべき。胃がん検診は苦痛を伴う内視鏡や血液検査など医師会の協力を得て実施を要望。

**答** 予防接種の再接種助成事業は実施。今年度仙台市では内視鏡検査開始。石巻は難しいが検診向上にむけ努力する。

## 議会の動き

### 1月

- 14日 総合防災対策特別委員会
- 15日 日本共産党石巻市議団行政視察(～16日)
- 茨城県石岡市議会行政視察来石
- 21日 ニュー石巻行政視察(～23日)
- 埼玉県久喜市議会行政視察来石
- 22日 公明会行政視察(～24日)
- 28日 総務企画委員会行政視察(～30日)
- 環境教育委員会行政視察(〃)
- 保健福祉委員会行政視察(〃)
- 29日 産業建設委員会行政視察(～31日)

### 2月

- 4日 山形県新庄市議会行政視察来石
- 5日 愛知県岡崎市議会行政視察来石
- 10日 議会運営委員会
- 13日 第1回定例会開会(施政方針演説)
- 20日 議会運営委員会
- 21日 本会議(施政方針に対する質疑)
- 25日 本会議(〃)
- 26日 本会議(条例案等審議)

### 2月

- 27日 本会議(当初予算案審議)
- 28日 本会議(追加議案審議)

### 3月

- 2日 総務企画委員会
- 3日 環境教育委員会
- 4日 保健福祉委員会
- 5日 産業建設委員会
- 6日 議会運営委員会
- 10日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(〃)
- 13日 本会議(〃)
- 16日 本会議(〃)
- 17日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案質疑、閉会)
- 19日 宮城県議会大震災復興調査特別委員会
- 県内調査来石
- 26日 全国若手市議会議員の会視察研修来石(～27日)





# 常任委員会行政視察レポート

各常任委員会等が行った行政視察についての概要を紹介します。

## 総務企画委員会

【実施日】  
令和2年1月28日～30日

### 【視察地および視察事項】

#### ●愛知県知多市

『コミュニティ活性化事業について』  
『わくわくマイレージについて』

#### ●岐阜県大垣市

『移住・定住ポータル「大垣暮らしのすすめ」について』  
『アニメによるシティ・プロモーション（PR動画）について』

知多市では、地域コミュニティの個性と意欲を応援する3つの施策（①コミュニティ活性化委託、②人材育成、③コミュニティ自立支援）を平行して実施し、市民が主体となるまちづくりを推進している。

また、活動した市民がポイントをもたえる「知多市わくわくマイレージ」を始め、市民の健康づくりなどを応援する取り組みを行っている。

大垣市では、移住を検討している子育て世代等に、子育て支援策や様々な魅力等を提供し移住定住の促進を図るため、移住・定住ポータルサイト「大垣暮らしのすすめ」を開設し、利用者目線に立った情報と魅力の発信を行っている。

また、大垣市の魅力を市内外の人々に知ってもらうための様々なPR動画を制作し、公開している。

## 環境教育委員会

【実施日】  
令和2年1月28日～30日

### 【視察地および視察事項】

#### ●愛知県名古屋

『学校現場での外部人材の活用について』

#### ●兵庫県西宮市

『生物多様性にしのみや戦略について』

名古屋市では、教諭の負担軽減と児童生徒の技術習得のために、学校部活動の顧問人材を市周辺の大学関係者から募集していた。また、部活動のほかに子どもたちにとって豊かで有意義な土曜日を実現するために、伝統芸能や科学実験といった体験活動を地域、企業、大学等が協力し、一体となって支える取組を行っている。

西宮市では、生き物たちの豊かな個性とつながりを守ることで得られる自然の恵みを守ることを第一に生物多様性戦略を策定し、環境学習の充実と人づくりの推進のほか、地域住民、企業の社会貢献活動による里山整備や海辺の保全活動を行うことで市独自の生態系を守り、さらに広域的、国際的な役割を果たす取り組みを行っている。

## 保健福祉委員会

【実施日】  
令和2年1月28日～30日

### 【視察地および視察事項】

#### ●大阪府東大阪市

『市民協働で展開する健康づくり活動（健康増進計画）健康トライ21について』

#### ●岡山県倉敷市

『倉敷市被災高齢者向け住宅再建支援事業（倉敷版リバースモーゲージ型融資）について』

●兵庫県芦屋市  
『自立相談支援事業（ひきこもり支援）について』

大阪府東大阪市では、「市民協働と関係機関連携で広げる健康づくり活動」が厚生労働省健康局長優良賞を受賞しており、健康の活動を行う市民グループ同士が市民連絡会を立ち上げ、健康づくり活動を行っている。

岡山県倉敷市では、平成30年7月の豪雨災害による住宅再建支援として、土地と建物を担保として生涯一定の利息の支払いで再建する制度を策定しており、高齢者の再建を支援できる制度を行っている。

兵庫県芦屋市では、8050問題など、多問題複合支援ニーズの支援体制強化を目的にトータルサポート担当を配置し、相談者が支援の狭間に陥らないような多角的にサポートできる体制を整えている。

## 産業建設委員会

【実施日】  
令和2年1月29日～30日

### 【視察地および視察事項】

#### ●千葉県銚子市

『水産業振興について』

#### ●長崎県長崎市

『まちぶらプロジェクトについて』

銚子市の銚子漁港は、水揚げ量が9年連続日本一である。漁船の受け入れ態勢の整備や関係団体と取り組みについて協議を行い、漁船誘致を行っている。また、大型船の係留・停泊等に対応するため、岸壁等の整備を行い、安全かつ効率的な出入港の確保と水産物の安定供給の構築を図っている。

長崎市では、陸の玄関口である長崎駅周辺と、海の玄関口であるクルーズ船停泊地からまちなかへの誘導を図るため、専門家や地域住民の要望等を取り入れ、まちづくりを進めている。また、安心してまち歩きができる環境づくりのため、トイレや休憩スペースを観光客等に開放している店舗もあり、まちなかの歩行者通行量は増加している。

## 本会議・常任委員会を動画で配信しています。

視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)



また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画(録画映像)で見ることができます。

(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

### 次回6月定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 開会 13:00	5 委員選任等 10:00	6
7	8 審議 10:00	9	10 総務企画 環境教育 10:00	11 保健福祉 産業建設 10:00	12	13
14	15	16 一般質問 10:00	17 一般質問 10:00	18 一般質問 10:00	19 一般質問 10:00	20
21	22 一般質問 10:00 閉会	23	24	25	26	27

カレンダーの時刻は、開会時刻となっております。

※時間・日程は変更となる場合があります。

### 6月の定例会

6月の定例会では、常任委員会の委員選任を行う重要な会議となります。

議会は、市長と対等の立場に立って、仕事に対するチェックや、市民のための政策を提言して市政を正しく運営していきます。

### 議会に参加する

議会の傍聴や、議会に陳情を提出することができます。

本会議は、2・3月、6月、9月、12月に開催する定例会、また、必要がある場合に開かれる臨時会があります。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止のために一般傍聴を制限した石巻市議会第1回定例会は、患者発生時の対応体制はもとより、学校の休業への対応などについて多く議論が交わされ、事業者が融資を受ける際の利子補給を追加可決するなど、緊急事項への対応が焦点となった定例会でもありました。そんな第1回定例会で可決した令和2年度当初予算における一般会計の規模は1,950億円ほど。復興工事の完成を目指す復興基本計画期間の最終年度だけあって、昨年の当初予算と比較して150億円の増額となりましたが、市民税(個人、法人)は減少見込みであり、扶助費では増加傾向が見られるなどその中身は予断を許さない状況が続きます。

新型コロナウイルスの影響やオリンピックの延期で確実に起こるであろう経済の冷え込みへの対応も含めて、行政と議会は車の両輪となって知恵を絞っていかねばなりません。まずは自分の身体は自分で守る! お体をご自愛くださいますようお願いいたします。

広報広聴委員 山口 荘一郎

### 議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)や市役所5階市民サロンでご覧になれます。

また、YouTubeでは録画映像も視聴できます。

公式な記録としてはホームページや図書館、議会図書室で会議録をご覧になれます。

### 議会だよりを読む

議会だよりは2月、5月、8月、11月に発行します。

ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知ってください。

DATA 市総人口: 141,887人【男: 68,954人 / 女: 72,933人 / 世帯数: 61,625世帯(令和2年3月31日現在)】